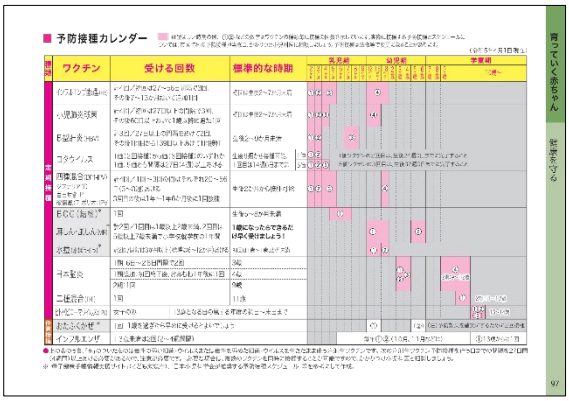
令和 6 年度版『母子健康手帳副読本』P97 の修正について

令和 6 年 4 月からの改正予防接種法施行規則により五種混合ワクチンが定期接種として使用するワクチンに追加され、予防接種のスケジュールが変更になりました。これに伴い、令和 6 年版『母子健康手帳副読本』の該当ページについて、印刷して切り取って活用できる PDF を公開いたします。大変お手数ですが点線より切り取り、該当箇所に貼ってご使用ください。

令和 6 年度版母子健康手帳副読本（表紙）

●該当ページ（P97）



▼点線より切り取り、該当箇所に貼り込んでご使用ください。

■予防接種カレンダー

は望ましい時期の例、①② などの数字はワクチンの種類毎に接種の回数を示しています。実際に接種する予防接種とスケジュールについては、市区町村の予防接種担当窓口、かかりつけ小児科医に相談しましょう。予防接種は法令等で変更になることがあります。

（令和6年4月1日現在）

種類	ワクチン	受ける回数	標準的な時期	乳児期 2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	幼児期 12か月～	15か月～	18か月～	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	学童期 7歳	8歳	9歳	10歳～
定期接種	小児用肺炎球菌	計4回／初回は27日以上の間隔で3回、その後60日以上おいて1歳以降に追加1回	初回は生後2～7か月未満	①	②	③						④											
	B型肝炎(HBV)	計3回／27日以上の間隔で2回、その後1回目から139日以上あけて1回接種	生後2～9か月未満	①	②				③														
	ロタウイルス	1価(2回接種)か5価(3回接種)のいずれか1価、5価とも間隔は27日(4週)以上あける	生後6週から接種可能、1回目は14週6日までに	1価 ① ②	1価ワクチンの2回目は、生後24週0日までに完了すること																		
				5価 ① ② ③	5価ワクチン3回目は、生後32週0日までに完了すること																		
	五種混合(DPT-IPV-Hib) ジフテリア:D 百日せき:P 破傷風:T ポリオ:IPV インフルエンザ菌b型:Hib	計4回／1～3回の間はそれぞれ20～56日(3～8週)あける 3回目の後は6か月～1年6か月後に1回接種	生後2か月から接種可能	①	②	③						④											
	BCG(結核)*	1回	生後5～8か月未満				①																
	麻しん・風しん(MR)*	計2回／1回目は1歳以上2歳未満、2回目は5歳以上7歳未満で小学校就学前の1年間	1歳になったらできるだけ早く受けましょう！									①						②					
	水痘(水ぼうそう)*	計2回／間隔は3か月以上(標準は6～12か月)あける	初回は1歳～1歳3か月未満									①	②										
	日本脳炎	1期：6日～28日間隔で2回	3歳												①	②	③						
		1期追加：初回終了後、おおむね1年後に1回	4歳																				
		2期：1回	9歳																			④ 2期:9～12歳	
	二種混合(DT)	1回	11歳																				① 2期:11～12歳
	ヒトパピローマウイルス(HPV)	女子のみ	13歳となる日の属する年度の初日～末日まで																				①②(③) 13～14歳
任意接種	おたふくかぜ*	1回　1歳を過ぎたら早めに受けるとよいでしょう										①						(②)					(注)予防効果を確実にするために2回接種
	インフルエンザ	13歳未満は2回(2～4週間隔)										毎年①②(10月、11月などに)											① 13歳からは1回

●上の表のうち、「*」のついたものは毒性の弱い細菌・ウイルスまたは毒性を弱めた細菌・ウィルスを生きたまま使う注射生ワクチンです。次の注射生ワクチン予防接種を行う日までの間隔を27日間（4週間）以上あける必要があるので、注意が必要です。必要な場合は、複数のワクチンを同時に接種することが可能ですので、かかりつけの小児科医と相談しましょう。